

マリナー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリナー安全推進室
TEL093-321-2931 (担当;上野)

第118号 平成27年7月

★ 夏場特有の事故多発！！ ★

すっきり晴れた青空を見ることが少なく、連日、台風が鎮座している天気図が脳裏に焼きついておりますが、その中でも晴れた週末には、夏場特有の事故が多発しています。
まだまだ夏は続きます。同種事故に遭わないよう、ご注意ください！！

～ 7月に管内で発生した事故事例 ～

1 水上オートバイ衝突・落水事故

【概要 ①】

仲間4隻の水上オートバイで航行していたところ、そのうち1隻がブイに係留していた警戒船に衝突しました。この衝撃で海に投げ出された水上オートバイの操船者は、誤嚥性肺炎及び急性肺水腫と診断され入院しました。

【概要 ②】

水上オートバイに3名が乗船して航走していたところ、橋脚に衝突して3名全員が海中に投げ出されました。この衝突で、シートの真ん中に座っていた女性は足を骨折、後ろに座っていた女性は脳震盪を起こし、2名とも病院へ搬送されました。

【概要 ③】

水上オートバイで女性1名を乗せた被引浮体遊具（ソファ型ゴムボート）を曳いて港に帰っていたところ、港に係留されていた他の水上オートバイに同ゴムボートを衝突させてしまいました。同ゴムボートに乗っていた女性は、全治2週間の打撲を負いました。

【概要 ④】

水上オートバイの後席に同僚を乗せて航走中、他の水上オートバイを避けるため、急ハンドルを切ったところ、後席の同僚をその反動で海中に転落させてしまいました。転落した同僚は、右肋骨3本骨折、血気胸等と診断され2～3週間入院することとなりました。

【再発防止策】

水上オートバイ及び被引浮体遊具（ソファ型ゴムボート、クッキー等）で遊ぶ際には、他船や橋脚等の障害物と衝突を防ぐために周囲を常に確認するとともに、衝突・落水時の怪我を防ぐヘルメット・ウェットスーツ等の保護具を着用願います。

2 帰還不能

【概要】

複数名で海岸にて遊んでいたところ、海に流されたビーチボールを回収するために、A氏は浮き輪を使って海に入りましたが、そのまま沖に流されてしまいました。

A氏を救助するため、今度は仲間4名がボートで救出に向かうも、途中で転覆し、うち2名は自力で泳いで岸に戻りましたが、残り2名のB氏及びC氏はボートを陸岸に戻そうと試みている間に、沖に流されてしまいました。

海岸に残っていた他の友人らはA氏を救助するとともに、救助を求められた第三者が「118番」通報して海上保安庁へ救助要請を行い、巡視艇がB氏及びC氏を救助しました。

【再発防止策】

この日は、天候が悪く、強風・波浪・雷注意報が発令されていました。

気象海象の状況を随時確認し、必要に応じて、海でのレジャーを取り止める又は途中で中止する等、適切な判断をお願いします。

★ 遊泳時の注意事項 その1 ★

前頁にも、今月管内で発生した事故事例を紹介しましたが、過去には、他にも様々な海のレジャーで事故が発生しています。

海で楽しく遊ぶための注意事項を記しましたので、海へ行く前に、是非、一読願います！！

～ 過去の事故事例 ～

夏場には、海水浴場での遊泳中やスキューバダイビング中の事故が多く発生します。

これらは、次の注意事項を守ることで防ぐことができますが、**万が一、事故が発生した場合には、可能な限り早く、「118番」通報**をお願いします。

1 天候不良時や遊泳禁止場所、防波堤・離岸堤・突堤の近くは遊泳危険！！

- ・ 遊泳禁止場所や防波堤等の付近では、潮流が早くなっていることが多々あります。
- ・ 前頁2にも記しましたとおり、天候不良時の海は非常に危険です！！
- 事故者2名は海水浴場の付近にある防波堤から遊泳目的で飛び込んだところ、2名とも沖へ流されました。流された2名が付近の者に助けを求めたところ、付近防波堤にいた他の遊泳者がこの声を聞きつけ、浮き輪を使って無事に救助しました。

2 体調不良時や飲酒後の遊泳は非常に危険！！

- 缶ビール1本を飲んだ父親とその子供の2名は、海水浴場で遊泳を楽しんでいました。浜辺へ先に上がった子供は、父親が浜辺に戻らないことから心配になったことから、海水浴場の管理事務所等に連絡して、合同で捜索を実施しました。しかし、残念ながら、漁船が父親を発見した時には、既に溺れて亡くなっていました。

3 海辺等にいる幼児から目を離さない！！

- 家族が海水浴場の波打ち際で遊んでいたところ、親が目を離した短時間に、2歳男児がうつ伏せ状態で溺れました。幸い命に別状はありませんでしたが、経過観察のため数日の入院を要することとなりました。
- ※ 溺れている人は、ドラマや映画のように“助けて～”と叫んだり、手を振ったり、バシャバシャ暴れたりできずに、静かに溺れるとされています。

4 自分の体力・泳力を過信しない！！

- 泳ぐことが不得意な方がビーチボールに掴まって、友人と海水浴場で遊泳していたところ、ビーチボールから手が離れてしまい、溺れて亡くなりました。

5 スキューバダイビング中はバディーによる相互確認を徹底！！

- ダイビング経験が豊富なダイバーが、自己判断で勝手に単独行動をとり、行方不明となりました。その後の捜索で発見されましたが、既に溺れて亡くなっていました。



海で命を守る
3つのポイント

- ライフジャケットの常時着用
- 連絡手段の確保
 - ・ 防水携帯電話の携行！
- ※ 通報位置特定のため、**通報時にGPS(位置情報)をON!**
- 海のもしものは「118番」

JCG 未来に残そう 青い海
海上保安庁第七管区海上保安本部

● **離岸流**に注意!!

海水浴場や海岸付近では、岸から沖に向かう流れが発生することがあり、これを「**離岸流**」と呼んでいます。その速さはオリンピックの競泳選手並みになることもあり、海岸であればどこでも発生する可能性があります。「**離岸流**」に遭うと、水際で泳いでいる人が沖へ“あっという間”に流されてしまうことがあり、大変危険です!



沖にながされたときの脱出方法

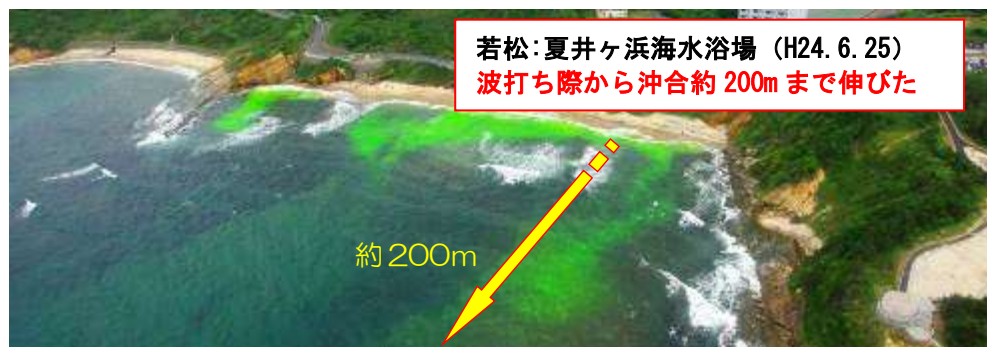
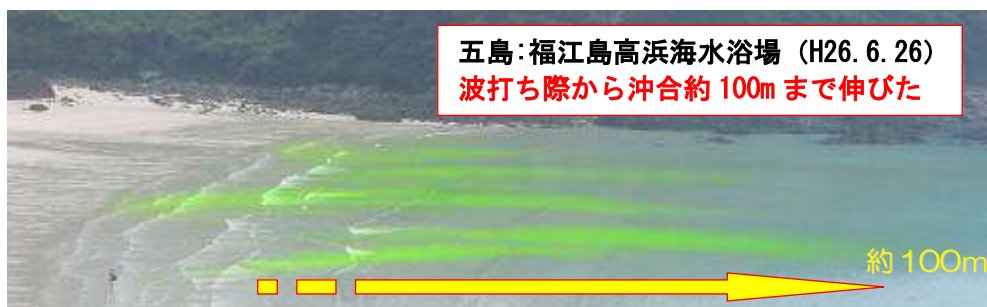
☆ 「**離岸流**」からの脱出方法

① 慌てずに、付近の人に救助を求める

② 海岸線と平行に泳いで「**離岸流**」から抜け出す

「**離岸流**」の幅はわずか10m~30mといわれています。

そのため、岸に向かって(流れに逆らって)泳がず、海岸線と平行に泳ぐと、無理なく岸へ向けて泳ぐことができます。



離岸流については、第七管区海上保安本部海洋情報部 HP で情報提供しています。
 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/marin/rigan/rip_current.htm>
 問い合わせ先: 第七管区海上保安本部海洋情報部
 海洋調査課 【電話 093-321-2931 (内線 2535)】

